

22.1黒川清流公園と日野五福神巡り

担当 松永 090-1609-5814

期日 2022.1.6(木)

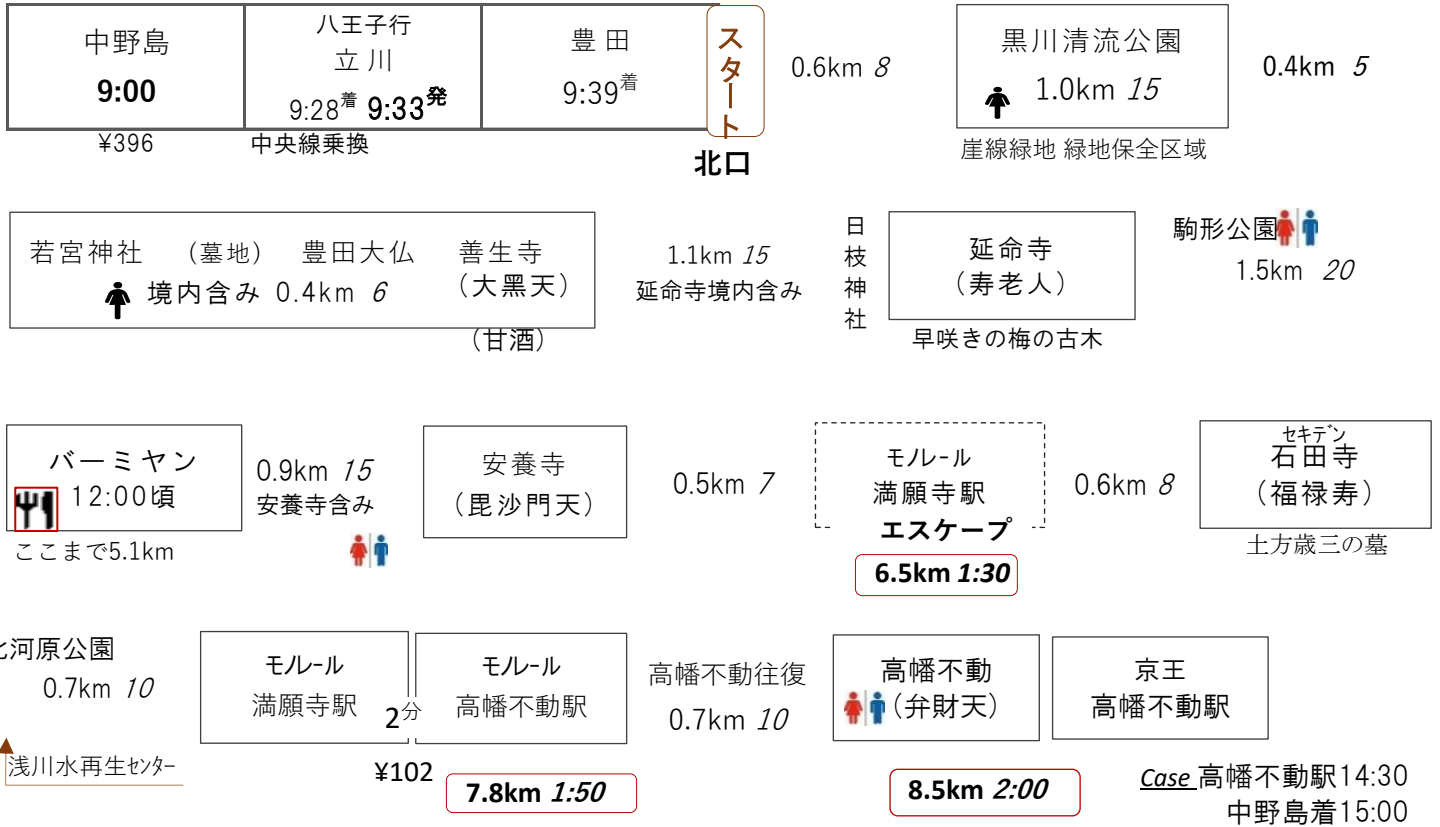
斜数字 休憩等を含まない実歩行時間

集合 中野島駅 8:55

km 坂、階段等を考慮しない地図上の水平距離

昼食 バーミヤン

↑ 共用トイレ



コース概要 日野台地にある豊田駅北口(北口は崖の上南口は崖の下)をスタート地に、崖線緑地黒川清流公園を散策して、若宮神社から豊田大仏→善生寺から日野七福神(五福神)を巡ります。離れている宗印寺(布袋尊)と真照寺(恵比寿天)は割愛します。上り坂がないほぼ平地歩きです。**エスケープ** 途中6.5km地点満願寺駅で離脱できます

黒川と黒川清流公園 日野台地の段丘崖線のハケの水を集めた澄んだ黒川の流れは、黒い川底がそのまま見える文字通りの黒川だったそうです。都市化が進展する中、崖線の雑木林は緑地保全区域に指定されて保全されています。一方、ハケ下の湿地は住宅地に、黒川は石積み護岸の延長600mの人工の小川に姿を変えています

善生寺(大黒天)と若宮神社 明治の神仏分離までは善生寺が神社の別当を務めていました。善生寺の裏には仏身4.9mの豊田大仏があります。本堂は1810年に再建されたもので、内部の柱や梁は現在そのままに使われています。豊田大仏の後背から入ります。絵本作家いけかつまいこのアマビエの御朱印がコロナ除けの札として人気になりました

延命寺(寿老尊) 明治の神仏分離まで延命寺が隣接する日枝神社の別当を務めていました。本尊は運慶作の延命地藏菩薩ですが秘仏です。樹齢100年以上の早咲き梅の古木の紅梅が有名です

安養寺(毘沙門天) 安養寺にある古仏は地名だけが残っている満願寺が所有していたものといわれます。毘沙門天は平安中期の作といわれる木像で市の文化財に指定されています。江戸時代の面影をとどめているといわれる本堂は1983年に復元され、客殿は本堂よりもさらに古い元禄時代の姿のまま残されている建物です

石田寺(福祿寿) 市の天然記念物に指定されている樹齢400年~600年?といわれるカヤの木の近くに参拝者と献花が絶えない土方歳三の墓があります

金剛寺 = 高幡不動(弁財天) 不動堂. 仁王門は国重文。周知の寺なので紙面の関係で説明省略します



黒川清流公園遊歩道 (初冬)



人工の石積み護岸の黒川 (初秋)



善生寺から大仏 (正月)

マップ-1 豊田駅～延命寺.駒形公園



マップ-2 駒形公園～高幡不動

